

2016年6月29日

各 位

会社名 株式会社 キャンバス
代表者名 代表取締役社長 河邊 拓己
(コード番号:4575 東証マザーズ)
問合せ先 取締役最高財務責任者兼管理部長
加登住 眞(電話 055-954-3666)

ファルマバレープロジェクトとのIDO/TDO阻害剤共同研究契約締結のお知らせ

当社はこのたび、静岡県が推進するファルマバレープロジェクトの一環として、公益財団法人静岡県産業振興財団との間で、静岡県立大学大学院薬学研究院創薬探索センターが有するIDO/TDO阻害剤候補化合物の構造最適化および評価について共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

【研究目的】 「IDO/TDO阻害に基づく抗がん剤の開発研究」

ファルマバレープロジェクト(富士山麓先端健康産業集積プロジェクト)とは、静岡県が県東部地域を中心に医療健康産業クラスターの形成を目指し推進しているものです。(公財)静岡県産業振興財団ファルマバレーセンターは、このプロジェクトの中核支援機関です。

(ファルマバレープロジェクトウェブサイト <http://www.fuji-pvc.jp/project/>)

IDOとTDOは、いずれもトリプトファンを代謝しキヌレニンを生産する律速酵素で、さまざまな種類の癌細胞や、癌微小環境の多くの細胞で発現しています。

癌細胞は、強力な免疫抑制をひきおこすキヌレニンの産生によって、免疫の中心的な役割を果たすT細胞の機能を抑制し、免疫系による攻撃から身を守っていると考えられています。

これら酵素の働きを阻害するIDO/TDO阻害薬は、抗PD-1抗体や抗PD-L1抗体等と同じ「免疫系抗癌剤」のひとつであり、免疫系抗癌剤を含む他の抗癌剤との併用における相乗効果が期待されています。

特に、一般に製造単価を抑制できる低分子化合物で実現できれば、高額な医療費を伴う抗体医薬が中心となっている現在の免疫系抗癌剤からの置き換え、あるいはそれらとの併用による効果の増強や対象患者数の増加が期待できます。

IDO/TDO阻害剤の最先行化合物のひとつと考えられているINCB24360(米Incyte社)は、抗PD-1抗体ニボルマブ(オプジーボ)との併用による臨床第1/2相試験、抗PD-L1抗体デュルバルマブとの併用による臨床試験が進められています。

本共同研究では、静岡県立大学大学院薬学研究院創薬探索センターが有するIDO/TDO阻害剤リード化合物(プロトタイプ)について共同で最適化および評価を実施し、新たな免疫系抗癌剤候補化合物の創出を目指します。

本共同研究の期間は、2016年7月1日から2018年3月31日までです。

本件による当期業績への影響はありませんが、新規候補化合物を獲得できた場合には創薬パイプラインの拡充など中長期的な企業価値の向上に寄与することが期待されます。

以上